

IEC/TC108/HBSDT会議より

48 回目となる、IEC/TC108/HBSDT会議がWEBにて、2024年4月9日～11日の3日間（日本時間で4月9日22:00から12日1:00まで）開催されました。会議には20カ国から57名のエキスパートの参加があり、活発な審議が行われましたので、その報告をいたします。

【IEC 62368-1第4版に関して】

IEC 62368-1第4版は2023年5月に発行されましたが、FDIS（最終国際規格案）の審議結果が一部反映されないまま発行されてしまったため、多くの編集上の修正が必要となっていることが指摘されています。この修正を行うため、TC108では Corrigendum（正誤表）及び Amendment（追補）の両方を発行して対応する予定としています。

【IEC/TC108が所管する規格の解釈に関して】

IEC/TC108では所管する規格の解釈に関し、各国の国内委員会等から寄せられた質問等について審議しており、その一部を報告します。

USB Type-C コネクタなどの通信ポートを介して電力供給する場合、USB PD プロトコルによって公称電力が 100 W を超えないように制限する standard power range (SPR) が用いられています。しかしながら、例えば同じUSB Type-Cのコネクタを用いて、供給できる電力を拡張し、電力が 240 W (48 V、5 A) に達する可能性がある extended power range (EPR) を使用する方向に進んでいます。最新版となるIEC62368-1第4版ではEPRモードに対する要求事項が含まれていないことから、その取扱いに関する考えを述べるため、IEC/TC108のポジション文書を発行する予定としました。

現在IEC/TC108では、上記のような通信ポートを介した直流給電に対応する規格（IEC 63315となる予定）を作成しており、その規格において、上記の内容を考慮する予定としています。なお、IEC 63315のCDV（投票用委員会原案）は2024年7月頃に発行する予定としています。

オーディオ出力の測定に関し、最大出力（ノンクリップ出力）が長時間持続できない製品があることが報告され、適切な解決策を開発する必要があることが提起されました。

【IEC 62368-1の改正審議】

IEC/TC108ではIEC 62368-1第4版の改正作業に取り掛かっています。今回の会議でも多くの改正提案等がありましたので、その一部を報告します。

- ・ 附属書Qの要求事項を満たす回路には、6.4.6（PS3 回路における炎の拡散の抑制）で規定する防火用エンクロージャを要求しないとする提案

- ・ G.5.3.4.5（熱サイクル試験及び適合性）で規定する試験中に印加する電圧を軽減する提案

- ・ 表G.12（IEC 60384-14に基づくコンデンサの定格）の内容を IEC60384-14 に整合させる提案

- ・ M.4.3（防火用エンクロージャ）はリチウム二次電池に対して要求しているが、その要求をセルだけに適用するとする提案

- ・ IEC 63315を引用するにあたっての必要となる事項の提案

【オンラインでの規格開発について】

ISO/IECは、オンライン上で規格開発ができるプラットフォーム、Online standards development (OSD) を構築しており、規格作成をオンライン上で行うように変える予定となっています。

IEC/TC108では、IEC 62911（Audio, video and information technology equipment – Routine electrical safety testing in production）の改定作業をOSDで行うこととしています。

【今後の予定】

IEC/TC108では、次回（2024年秋）のIEC/TC108/HBSDT会議、及び通常2年に一度開催されるIEC/TC108/Plenary会議の開催を、IEC総会が行われる英国で行うことで考えています。しかしながら、英国の国内委員会から回答は未だであり、今後1-2ヶ月内に招待がない場合は欧州内の別の場所で行う予定としています。もし全く調整がつかない場合はWEB会議となる可能性もあります。

2024年以降の会議に関して、通常は年に2回開催することとし、うち1回はWeb会議とし、残りは対面会議とする可能性があります。

【お問い合わせ先】 電気製品安全センター

TEL 03-3466-5131 / E-mail center@jet.or.jp